

登録コード	J5370300	開講年度	2026			
授業科目	公認会計士実習				担当教員	関 利恵子
英文授業名	Topics on Social Sciences				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限 水曜・4時限	対象学年 (20・23カリ対象科目) 経：3年
講義室	経法第4講義室	授業区分	演習	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	経法20加 現代社会が抱える課題に対して、社会科学の専門性を軸とする解決方法を提案し、自然科学と協働しながら課題解決に導く力を身につける。					・現代社会が抱える課題について、会計監査の理論・手法をもとに解決方法を提案し、課題解決する能力を身に着けることができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本実習は、日本公認会計士協会東京会長野県会・EY新日本有限責任監査法人松本事務所・有限責任監査法人トーマツの協力により、現役で活躍する公認会計士の方々の指導のもとで、監査論の理論と実習を行ないます。 公認会計士実習の前半（第1～8回）では、監査論についての基本的な知識と監査の実務や不正の事例を挙げて掘り下げつつ、公認会計士業務の現場での取り組みを紹介します。 第9回の講話では、上場企業で適用企業される国際財務報告基準「IFRS」について紹介します。後半（第10回～第15回）の6回が実習となります。					
(5)授業計画	「公認会計士実習」の現時点でのスケジュールは以下のとおりです。 ＊10月・11月・12月の毎週金曜日、3・4時限連続の講義です。 10月28日 1. 公認会計士の役割 （公認会計士協会） 2. 監査論（一般基準） （公認会計士協会） 11月 4日 3・4. 監査論（リスク・アプローチと内部統制）（公認会計士協会） 11月11日 5・6. 監査論（実証手続と監査意見） （公認会計士協会） 11月18日 7. 有価証券報告書の読み方 （公認会計士協会） 8. 公認会計士の活躍するフィールド （公認会計士協会） 11月25日 9. 国際会計基準をめぐる傾向 （公認会計士協会） 12月 2日 10・11. 監査実習 （公認会計士協会） 12月 9日 12・13. 監査実習 （公認会計士協会） 12月16日 14・15. 監査実習 （公認会計士協会）、アンケート 日程は変更になる場合があります。必ず事前に確認をしてください。					
(6)成績評価の方法	公認会計士実習の成績評価は、各回のレポートと講義及び実習での発言・質問などで評価をします。評価のウェイトはレポートが60％、発言・質問が40％です。各回のレポートの評価の目安は、成績評価の基準において「水準にある」は1点、「やや上にある」及び「かなり上にある」は3点、「卓越している」ものは5点とします。欠席・レポート未提出は0点となります。 講義内レポートは、原則、毎回実施、講義終了までに提出。					
(7)成績評価の基準	(i)問題の設定が適切であり、(ii)その問題背景を説明できており、(iii)その問題にどのような課題があるかを指摘できており、(iv)それらの課題に対して既存学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v)その上で自分見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目まで満たしていれば「やや上にある」。3項目まで満たしていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	・講義資料は、講義前にeALPSにアップします(初回を除く)ので、事前に確認して事前学習したうえで講義に臨んでください。 ・事後学習については、講義資料および講義中に講師から出した課題等で行ってください。					
(9)履修上の注意	・「財務会計」を履修することが本科目の履修条件となります。 ・本科目の定員は20名です。履修希望者が定員を上回る場合にはGPA評価の高い学生から履修を認めます。 ・実習では電卓、PCを使用しますので必ず持参すること。 ・講義開講日が2時間連続で8回の講義なので講義日程をしっかりと確認して履修してください。講義、実習ともに本学講義室で実施します。					
(10)質問、相談への対応	質問・相談は、講義終了後ないしはe-mail で受け付けます。面談を希望する場合は、事前にe-mailにてアポイントメントを取ってください。 e-mail：seki@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	第1回目の講義にて指示します。					
【参考書】	適宜、指示します。					